



学校教育目標

「志高く、学ぶ意欲と思いやりの溢れる生徒の育成」

～夢の実現に、明るく、やさしく、勇気をもって挑戦し続ける～

## 育てよう、挑戦する勇気！

3月10日は卒業式でした。

今年は12名の卒業生が有年中学校を巣立っていきました。

ご家庭や地域の皆様の温かい愛情に生まれた生徒たち全員が、それぞれの夢や目標に向かって次のステージへ踏み出しました。

教職にある者として、最も嬉しい日です。

卒業生の成長と活躍を心より祈念いたします。



学校では卒業式、職場では転勤や退職などが行われます。

新しい場所への門出と、仲間との別れがあり、嬉しさと寂しさを同時に経験することになります。

3年生の卒業には、「おめでとう」という気持ちがある反面、もう一緒に学校生活をするのはできないんだなあ、と、少し寂しさを感じたりします。

ところで、この寂しさの原因は何だと思いませんか？

私は、「不安」だと思っています。

新しい場所、知らないところでやっていけるのだろうか、いままで一緒にいた仲間たちと、会えなくなる、忘れられてしまうかも、といった「不安」から生まれてくるものだと考えています。

だから、この「不安」を取り除けば、嬉しい気持ちだけになって、いいスタートが踏み出せるはず。

では、どうすれば「不安」を取り除くことができるのでしょうか。

少し堅い話になりますが、すべてのものは常に移り変わり、いつまでも同じものは無いという考え方があります。「無常観」といいます。

初めから、今あるものは永遠では無いと考えれば、いつまでも同じ場所にはいられないことや、いつか別れがやって来ることは当然のことだと分かります。

そうすると、後悔しないよう生きるためには、今いる場所や人、時間や経験を大切にすることがとても重要なことに気がきます。

次は、気付いたとしても行動できるかどうか課題です。

行動できるようになるには練習が必要です。

新しいこと、やった経験が無いことに挑戦することが練習になります。

自分から新しいことに挑戦して、自分を変えていく経験を積み重ねるのです。

周りから与えられるの変化を待つのでは無く、自分から変化を作り出すことで、経験を増やし、直ぐに行動できるよう自分を変えていくのです。

自分の変化(成長)を感じられると、自信が湧いてきます。

たとえ、ほんの少しだけだとしても、自分が大切にしているもの(価値観)を大切にできたとき、人は充実感を感じます。

そして、充実感を感じると不安が消えていきます。

行動できるかどうかの鍵は、挑戦する勇気を持つことです。

- ・自分から先に挨拶する
- ・履き物を揃える
- ・少し早く始める
- ・ゴミを拾う
- ・「ありがとう」を伝える

自分の中にある小さな勇気を育てていこう！

## 生徒総会(3/2)

後期生徒総会が行われ、1年間の総括をしました。その後、2年生新生徒会に引継ぎが行われ、新年度に向けて本格的に活動が始まりました。

生徒会活動は毎年レベルアップをしています。新生徒会も先輩たちの思いを引継ぎながら、自分たちの考えを組み込んだ活動を展開してくれるものと思います。

次年度の生徒会も、さらなる成長を遂げられると信じています。



## 次の1年を、最高の1年にするために

まもなく春休みです。

すでに計画を立てて実行している人もいますが、年末年始と同じで、春休みの3月中には、4月からの新年度にいいスタートが切れるよう、振り返りと目標を決め、目標が達成できるように日々、何をしていくのか、具体的な行動に落とし込む必要があります。

夢なき者に理想なし  
理想なき者に計画なし  
計画なき者に実行なし  
実行なき者に成功なし  
故に、夢なき者に成功なし

とは、幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物、吉田松陰先生の教えとされています。

何のために生きていくのか、それを考え、実行する春休みにしてください。

みなさん一人一人には、自分にしかできない役割がたくさん眠っています。

考えているだけでは前に進みません。

やってみて、失敗して、また考え、

そして、また試してみる。

その繰り返しが成功の秘訣です。

さあ、新しいステージにおく、一步を踏み出しましょう。

## 何のために働くのか? その6

誰もが幸せに暮らせる社会にするために、今の自分に何ができることを考えた。

大学を卒業したばかりの若僧が考えたのは、大学院を目指すのではなく、学校の先生になることだった。

最初にするのは、教員免許を取得することからだった。

人間、本気になれば何とかなるもので、1年後、無事に免許をもらって臨時の先生をはじめ、3年後に、ようやく正規採用された。

仕事に就いて分かることがたくさんあった。

その中で一番しんどかったことは、自分が伝えたいことと相手が求めているものが同じではないことだった。

解決策は、大学で最初に学んだことだった。

「相手を理解してから、自分を理解してもらえ」という人間の心理を忘れてしまっていた筈だった。

分かったつもりになっていた。気付くまでに4年半もかかってしまった。

「お父さんの仕事は、幸せを売ること」

子供の頃から父に、何の仕事をしているのか聞いたら、いつも言っていた台詞だ。

毎回、「嘘くさい」と思っていたが、それは本質だった。そして、今もそう思っている。

仕事とは、お客様の問題を解決することであり、お客様に喜んでもらうこと、幸せにすることだ。

自分の思いや商品を売ることではないことくらい誰もが知っていることだ。

お客様に喜んでもらうことで自分も幸せな気持ちになれる。

子供たちと関わることで、「働く」とはそういうことだと気付かされた。

今も、これまで本当にたくさんの人に迷惑をかけてきたと思っています。

だから少しでも誰かの役に立つことができるよう、今も自分にできることに力を注げるよう精進しています。

まだまだ力不足です。これからも、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

## 先生の異動のお知らせ

今年度、有年中学校を転任・退職する先生方をお知らせします。

勝谷 英策 校長先生（海洋科学館へ）  
棕本 光 先生（太子東中学校へ）  
山下 敬奈 先生（赤穂西中学校へ）  
安東 壮真 先生（坂越中学校へ）  
田中 友紀 先生（赤穂西中学校へ）  
和田 幸恵 SSW（退職）  
塚原 康代 SC（赤穂東中学校へ）

有年地区の皆様には大変お世話になりました。本当に、ありがとうございました。

生徒や保護者の皆様、地域の皆様と過ごした、楽しい思い出、助けていただいたことなど、思い返せば本当にたくさんの幸せな経験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

有年中学校を去ることになった私たち全員、やり残したことも、力及ばず挽回したいこともたくさんあって、もっと、有年中学校で働きたいと思っています。

その思いは、有年中学校に残った先生方と新しく着任する先生方に託します。

有年中学校で生徒たちからだけでなく、たくさんの方々からいただいた、あたたかい言葉やお心遣い、その他にも有形無形のたくさんのことを学ばせていただきました。

いただいたことを支えに次の職場で役立てていきたいと思えます。

心から感謝いたします。

ありがとうございました。



これからも有年中学校の教育活動にご支援とご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

## 4月の行事予定

- 7日(火) 離任式、着任式、始業式
- 8日(水) 入学式【弁当】
- 9日(木) 生徒会オリエンテーション、対面式
- 10日(金) 学級写真撮影、身体測定
- 13日(月) 新入生テスト、2・3年進級テスト  
【給食開始】
- 14日(火) 新入生テスト(2科目)
- 15日(水) 新入生歓迎行事【弁当】
- 16日(木) 交通安全教室、検尿  
PTA 運営委員会・理事会
- 20日(月) 家庭訪問(原小校区)
- 21日(火) 家庭訪問(西有年)  
心電図検査(1年)
- 22日(水) 家庭訪問(東有年・はりま台)
- 23日(木) 全国学力状況学習調査(3年)
- 24日(金) 眼科検診
- 25日(土) 授業参観、PTA 総会  
後援会理事会、PTA 新旧懇親会・歓送迎会
- 27日(月) 振替休業日
- 28日(火) 避難訓練
- 29日(水) 昭和の日、うねぶら2026